

# イベントレポート

## 第6回IPA 圧入工学セミナー in 高知 2013

イベントレポート

更新日 2013.7.17



開催日時： 2013年7月9日(月)13:30-17:15  
場所： 高知県高知市  
会場： [サンビアセリーズ](#) マリンホール  
主催： IPA研究委員会  
後援： 高知県、高知市、高知県工業会、高知県発明協会、高知県技術者協会  
高知工科大学、高知工業高等専門学校、株式会社高知新聞社、株式会社技研製作所  
プログラム： 講演1「ケンブリッジ大学と技研製作所の共同研究成果と現場への展開」  
ケンブリッジ大学 スチュワート・ヘイグ博士  
株式会社技研製作所 新工法開発部 実証科学課リーダー 石原 行博 (IPA研究委員会委員)  
講演2「南海地震に伴う高知市の長期浸水対策について」  
高知県 危機管理部 副部長 野々村 毅様  
講演3「アジアにおける最新の圧入技術の適用事例」  
ATSUNEW GIKEN PTE. LTD. ゴー・テイクリム博士  
講演4「わが国における最新の圧入技術の適用事例」  
株式会社技研製作所 工法事業部 工法推進課リーダー 木村 育正  
進行 IPA事務局長 奥村 忠彦  
参加者数： 232名

7月9日(火)、第6回圧入工学セミナーを高知県高知市の[サンビアセリーズ](#)にて開催しました。セミナーには、12の国と地域から研究者や技術者が参集したほか、高知県や高知市などの自治体関係者を含め過去最大となる232名が参加。圧入に関する学術探究の成果をはじめ、アジア地域で広がる圧入技術の適用事例や、防災・減災需要の高まりに対する圧入技術を用いた地元高知の行政レベルでの具体的な対策事例が紹介されるなど、理論と実践が融合された圧入工学ならではの講演内容で盛会裏に開催されました。

セミナーでは、日下部副会長による開会挨拶、岩城孝章高知県副知事の祝辞に続き、講師5名による4題の講演が行われました。

最初にヘイグ博士、石原講師から、ケンブリッジ大学と技研製作所の長年の研究成果の集大成として、圧入杭の性能、圧入施工の効率化、PPT (Pile Penetration Test)による圧入杭の先端抵抗の推定など、圧入施工現場への具体的展開の可能性について発表がありました。

次に、高知県危機管理部の野々村副部長から、来るべき南海地震で想定される高知市の長期浸水問題について、シミュレーションによる被害予測や、圧入技術を含む事前の減災対策と被災後の早期復旧



日下部副会長(東京工業大学名誉教授、茨城工業高等専門学校校長)による開会挨拶



岩城孝章高知県副知事の祝辞

対策などの行政レベルでの計画的取り組みについて紹介がありました。(英語抄訳:石井監事)

ゴ一博士からは、建設公害と環境に対する規制が高まるシンガポールにおいて、圧入技術が環境対策工法としてスペックインされている事例や、その他のASEAN諸国も含めた圧入技術の適用事例と今後の展望についての発表がありました。(日本語抄訳:石井監事)

木村講師からは、国内での圧入技術の適用事例として、国直轄事業でインプラント構造が初採用となった仁ノ海岸堤防改良工事(高知市)やジャイロプレス工法による災害対策工事などの施工事例のほか、応用性の高いコンビジャイロ工法や超低空頭対応圧入機などの新技術が紹介されました。

閉会後は、恒例となった交流会が開かれ、終始和やかな雰囲気の中、研究者、行政関係者、企業関係者ら産学官での交歓が行われました。また、翌10日には、若手研究者の育成を目的とした「第2回IPA若手研究者ワークショップ」と、研究成果をアジア地域での実務に役立たせることを目的に研究者と技術者が意見交換を行う「第1回IPA海外研究セミナー」も開催されました。

第2回セミナーで北村名誉会長が「高知を圧入のメッカにする」と発信して以降、年を追うごとに志を高くするメンバーが着実に増え、質の高い内容で進展していることを実感できる盛況なイベントとなりました。



スチュワート・ヘイグ博士(ケンブリッジ大学)



石原行博氏(技研製作所)



野々村毅氏(高知県危機管理部)



ゴ一・テイクリム博士(ATSUNEW GIKEN PTE. LTD.)



木村育正氏(技研製作所)

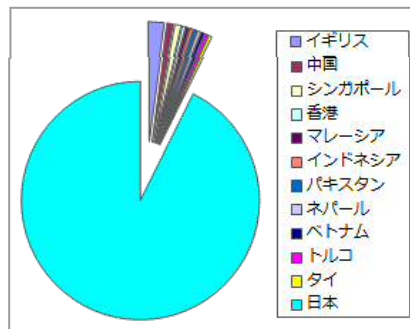


奥村忠彦事務局長による司会進行

## セミナー参加者の内訳

### 【国別】

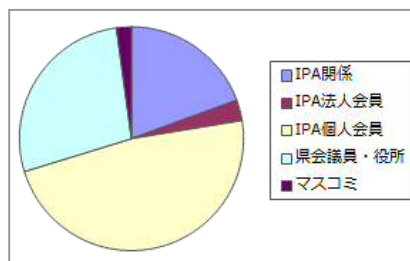
国名	参加人数	備考
イギリス	5	
中国	2	
シンガポール	2	
香港	1	
マレーシア	1	
インドネシア	1	
パキスタン	1	
ネパール	1	
ベトナム	1	
トルコ	1	
タイ	1	
日本	215	
合計	232	日本以外の合計17名



セミナー参加者グラフ【国別】

### 【所属別】

所属等	参加人数	備考
IPA関係	45	IPA役員・理事・事務局 5名、 大学・高専関係40名*1
IPA法人会員	7	
IPA個人会員	111	
県会議員・役所	64	
マスコミ	5	
合計	232	IPA会員163名 IPA非会員69名



セミナー参加者グラフ【所属別】

\*1 ケンブリッジ大学5名(3名)、同済大学2名(1名)、NUS 1名、香港大学1名、UTHM 1名、東京大学8名(7名)、金沢大学4名(2名)、東京理科大学2名(1名)、茨城高専 1名、高知工科大学5名(4名)、高知工業高等専門学校10名(9名)  
カッコ内は学生